

お米に感謝

大久保東小学校 三年 中村 理央奈

いただきます。

わたしの週末の楽しみは、家ぞくでおにぎりパーティーをすることです。すきなおにぎりは、しおむすびとさけおにぎりです。おにぎりを自分のすきな形にぎ、たり、色んな具ざいを入れる時、とてもワクワクします。いつも食べているお米がどのように出来ているのかきょう味を持ちました。お米をそだ

てる場所が田んぼだとして、五月に田うえ体けんにさんかしてみました。田んぼに入るのは、はじめてで、どろの中で足が思うように動かなくなり、歩くのがむずかしかったです。三、四本のなえのたはを一つにまとめ、田んぼにうえていきました。すっかりなえをうえつけないと、すぐによこにたおれてしまひ、あきらめずにうえつづけて、なえがまっすぐ立ったときは、うれしかったです。むかし、の田うえは、なえを手でうえてたくさん

時間がかかって大へんだと思いました。

夏休みに、自分がうえたなえがどのようにそだったのかを見に行きました。手の平の大ききさくらいになえが、足の長さくらいの大きさになっでいて、とてもせい長していました。そして、みどり色の実がついていました。黄金色になったらしゅうかくができると聞いたので、いねかりが楽しみで。

もう一つお米について発見したことがあります。今、生後六ヵ月の弟がいて、赤ちゃん

が人生でさいしょに口にする食べ物がお米だと分かりました。わたしは、りにゅう食のおかゆをすりつぶして弟に食べさせるお手つだいをしています。弟は、かぶりつくようにパクパクしてくれます。お母さんになっただ分です。のこったおかゆをわたしも食べてみた。あま味があっで弟がおいしそうに食べている理由が分かりました。

弟が大きくなっで、いっしょにおにぎりパーティーが出来る日が待ちとおしいです。